

## 国際協力機構東ティモール国立大学工学部能力向上プロジェクト

派遣先：東ティモール民主共和国 東ティモール大学

派遣期間：平成 29 年 8 月 7 日（月）～8 月 16 日（水）

技術職員：1 名

活動内容：

1. 平面研削盤切込調整装置の修繕指導

2. 横フライス盤ワークプログラム装置操作指導

3. NC 旋盤プログラム作成，操作方法等指導

4. 工作機械メンテナンス指導

5. 技能達成度調査



横フライス盤を使用した工作実習の様子。他の工作機械でも行われている。



右が工作実習製作品。左は取付治具。彼ら自らが構築し，工作実習を実施している。



横フライス盤ワークプログラムは特殊なプログラムであるため，操作を繰り返し行っている。



平面研削盤切込用爪の交換。故障箇所は彼らが確認し，部品は日本から持参した。



平面研削盤切込装置の調整。安定した切込みを行うには，数箇所の調整を行う必要がある。



CNC 旋盤の刃物台に特殊な治具を取付けレベル調整を行う。調整ボルトが奥にあるため，時間を要した。



NC 旋盤の NC プログラム編集。この後，工具位置設定，工具データ入力等を行い，加工へと進む。



NC 旋盤による球体加工の製作品。リクエストによる例題。研究にも使用したいと考えている。



工作実習授業を終えたばかりの学生たちに囲われての工場入口での記念写真。

日本から供給された工作機械等は，よく管理され，工作実習にも多くの工作機械が取り入れられていた。工作実習の内容も教員と技官が考え構築し，うまく実施されている。新規採用の技官は，積極的に活動しており，故障箇所を的確に見つけることが出来ている。私は 2008 年から現地に出向き支援しているが，工作実習を終えたばかりの学生たちに囲われての記念撮影は初めてである。学生さんの方から寄ってきたのである。JICA プロジェクトによる機械学科工作工場への支援が見える形で着々と進み，学生さんたちが実感していることの表れと喜んでいる。

